



キコリと羊



木野松たま子

羊たちのルドルフくん

のどかな村だった。

周りに見える景色は、真っ直ぐ続く道路
赤い屋根の家や青い屋根の家、そして牧場。
山もあるようだ。

赤い屋根の家の牧場は
広い草地へ羊達を放牧していた。
その羊達の監視役は牧羊犬の仕事だ。
イングリッシュ・シェパードのルドルフくんは
今日も羊達を束ねている。

ルドルフくんはあまり頭が良くはなかった。
俊敏な動きで誘導しなければいけない牧羊犬だが
羊達は気を遣ってルドルフくんの指示を
雰囲気を読み取っていた。
なぜなら羊達はルドルフくんが大好きだからだ。

ミスは多いが何か憎めない奴、
それがルドルフくんなのだ。

羊達はルドルフくんがミスをしないように
ボス羊はみんなを
大人羊たちは子羊を
子羊はルドルフくんを
それぞれのポジションで意識し
バラバラにならないよう気をつけていた。

ふと疑問がよぎるかもしれない
ルドルフくんは要らないのではないかと。

それは大間違いだ。
ルドルフくんあってのまとまりであること
そこは理解して頂きたい。

